

公開演奏会

14:10～15:30 奏楽堂

解説：遠藤 美奈

# 伝世する古楽器の音の再現

## —模造復元三線で聴く「北宮十三頌曲」—

遠藤 美奈

沖縄では、近代化や沖縄戦で被害を受けた戦災文化財や海外へ持ち出された流出文化財など、琉球王国時代の文化遺産が数多く失われ散逸した。そこで沖縄県では、沖縄が辿った歴史的背景を踏まえ、2015年から「琉球王国文化遺産集積・再興事業」として、残された文化財から得られる学術的知見や科学分析等を集積し、現在の手わざで文化財を模造復元<sup>1</sup>させる取り組みを行っている。その対象分野は、絵画、木彫、石彫、漆芸、陶芸、染織、金工、三線（2022年度からは楽器）で、2015年から2021年までの第1期に8分野・65件が模造復元された。本土復帰50周年を迎えた2022年には主要国立博物館等で県内の国宝とともに、過去から未来へつなぐ技の復興と継承を示すものとして共に巡回展示された。こうした工芸分野のなかに最初から三線が扱われているところにこそ、沖縄における三線の文化的重要度の高さが表われている。

一方で、集積・再興事業のなかでも三線は、伝統的工芸品ながら、現在も広く愛用されている楽器でもあることから、演奏者を介した「音」の再現が期待されている。これまでの集積・再興事業の報告によれば、伝世する楽器群が現在の胴よりも内径が約1cm程度広いことや長い糸掛けがある等の相異が明らかにされ、現代の三線の響きとは異なる可能性が高い。そこで本演奏会では、楽器として「弾く」ことを念頭に、ウマ（コマ）の位置やバチ捌き等について、琉球古典音楽奏者らと適切な奏法を検討し、沖縄県立博物館・美術館が所蔵する模造復元楽器での琉球古典音楽の演奏を試みる。

本演奏会で使用する模造復元楽器は、次のとおりである。

「<sup>ムリシマケージョー</sup>盛嶋開鐘」、「<sup>トウムイケージョー</sup>富盛開鐘」、「<sup>シタハクケージョー</sup>志多伯開鐘」は、三線の名工とされた<sup>マカピトクヌシ</sup>真壁里之子が製作した三線（真壁型）で、なかでも極めて優れた三線「<sup>エドユナー</sup>五開鐘」に数えられる。「<sup>フェーバル</sup>江戸与那」は、1885年の江戸立の際に島津家へ献上されたとされる与那型の三線で、一度は国外へ流出したが沖縄へ戻り、1954年に沖縄県立博物館へ寄贈されたものである。「<sup>フェーバル</sup>拝領南風原型」は、第二尚氏王統の分家にあたる旧伊江家に伝世したとされる南風原型の三線である。

さらに、これらの楽器を「聴く」ために、かつて琉球が清や明からの冊封使を歓待した琉

<sup>1</sup>模造復元とは、当該事業で再現された作品を指すために用いられた造語。ある作品について調査・研究を重ね、製作された当時の姿を忠実に復元したものを新たに製作することを指す。製作においては、可能な限り製作当時と同じ材料と技法を用いている。

琉球古典音楽から「北宮十二頌曲」を選曲した。冊封使は、次の国王即位を認める皇帝の勅書を携え、約6ヶ月から7ヶ月ほど琉球に滞在する。琉球側は、第一宴の論祭宴<sup>ゆざいえん</sup>で先王を弔い、第二宴の冊封宴<sup>さくほうえん</sup>で新しい国王の即位式等の儀式・儀礼を行う。冊封使をもてなす芸能は、これら二宴を除き、第三宴から第七宴までの宴のなかで演じられた。ただし、厳密には第二宴の勅書を授かる儀式後に、北殿で冊封使と新たな王が正式に顔を合わせ、茶を献じる際に音楽が奏でられた。これが「北宮十二頌曲」と呼ばれるもので、冊封使が公式的かつ最初に耳にする三線の音色だったのである。

本公演は、尚育王（第二尚氏第18代国王）の冊封（戌の御冠船）を記録した尚家文書『冠船躍方日記』（1839）に基づき、三線4名・胡弓1名で演奏を試みる。

第一乃	萬壽無疆之頌	かきやてふうふし（かぎやで風節）
第二乃	聖化四及之頌	つくてやんふし（作田節）
第三乃	天下太平之頌	恩納ふし（恩納節）
第四乃	率土安樂之頌	ちやんなふし（ぢやんな節）
第五乃	[海不揚波之頌] * 仲村渠ふし	
第六乃	封使遠臨之頌	伊江ふし（伊江節）
第七乃	内外一視之頌	あけつくてんふし（揚作田節）
第八乃	禮明法正之頌	平敷ふし（平敷節）
第九乃	河山帶礪之頌	仲順ふし（仲順節）
第十乃	奉國權舞之頌	白瀬はり川ふし（白瀬走川節）
第十一乃	輸誠仰天之頌	金武ふし（金武節）
第十二乃	球土永安之頌	あかつきふし（暁節）

[ ]\* …原文欠落のため劉富琳（広州大学）による補作

## 演 奏

三 線	新垣俊道	（琉球古典音楽野村流保存会師範）
	仲村渠達也	（琉球古典音楽野村流音楽協会師範）
	島袋奈美	（琉球古典音楽野村流保存会師範）
	親川 遥	（琉球古典音楽野村流保存会師範）
胡 弓	森田夏子	（琉球古典音楽野村流保存会師範）